

## 第2章 八重瀬町の概要

### 1 位置

八重瀬町は、平成18年1月1日、旧東風平町と旧具志頭村の合併により誕生した町である。

本町は、沖縄県本島の南部に位置し、東は南城市、西は糸満市、南は太平洋、北は豊見城市と南風原町に接している。町域は、東西に6.6km、南北に9.1kmでやや長方形をなしており、総面積は26.9km<sup>2</sup>となっている。

また、県都那覇市にも近接しており、県庁から町の北端までの距離が約4.7km、役場本庁舎までは約14kmの位置にある。



【八重瀬岳からの眺望】

## 2 地勢及び水系

本町の地勢は起伏に富んでおり、町の中央位置する八重瀬岳（標高 163m）を最高地とする丘陵台地を形成している。また、南側は太平洋に面する丘陵地となっている。

水系は、二級河川 4 本（長堂川（L=2,300m）、饒波川（L=4,500m）、雄樋川（L=2,500m）、報得川（L=8,720m））を有している。

長堂川及び饒波川は、八重瀬町の北部を流れており、国場川へと繋がる。

雄樋川は、南城市大里の大城ダムを起点に、港川漁港へ流れている。

報得川は、字東風平から糸満市へと流れているが、大雨による氾濫が発生することもあり、過去には水難事故も生じている。

二級河川

水系名	河川名	指定区間	指定延長 (m)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	指定年月日
国場川	長堂川	左岸 八重瀬町字外間下後原から国場川合流点に至る	2,300	7.39	昭和5年10月28日 昭和47年5月6日変更
		右岸 南風原町字津嘉山前川原から国場川合流点に至る			
国場川	饒波川	左岸 糸満市字武富溝原から国場川合流点に至る	4,500	14.6	昭和5年10月28日 平成18年3月31日変更
		右岸 八重瀬町字宜次笠江原から国場川合流点に至る			
雄樋川	雄樋川	左岸 八重瀬町字前川照田獄原から海に至る	2,500	13.74	昭和47年5月6日
		右岸 八重瀬町字新城ガンリー原から海に至る			
報得川	報得川	左岸 八重瀬町字東風平原から海に至る	8,720	18.66	昭和47年5月6日
		右岸 八重瀬町字東風平原から海に至る			

平成20年4月1日現在

資料：沖縄県土木建築部河川課



【太平洋に面する南側の丘陵地】



【港川漁港へ流れる雄樋川】





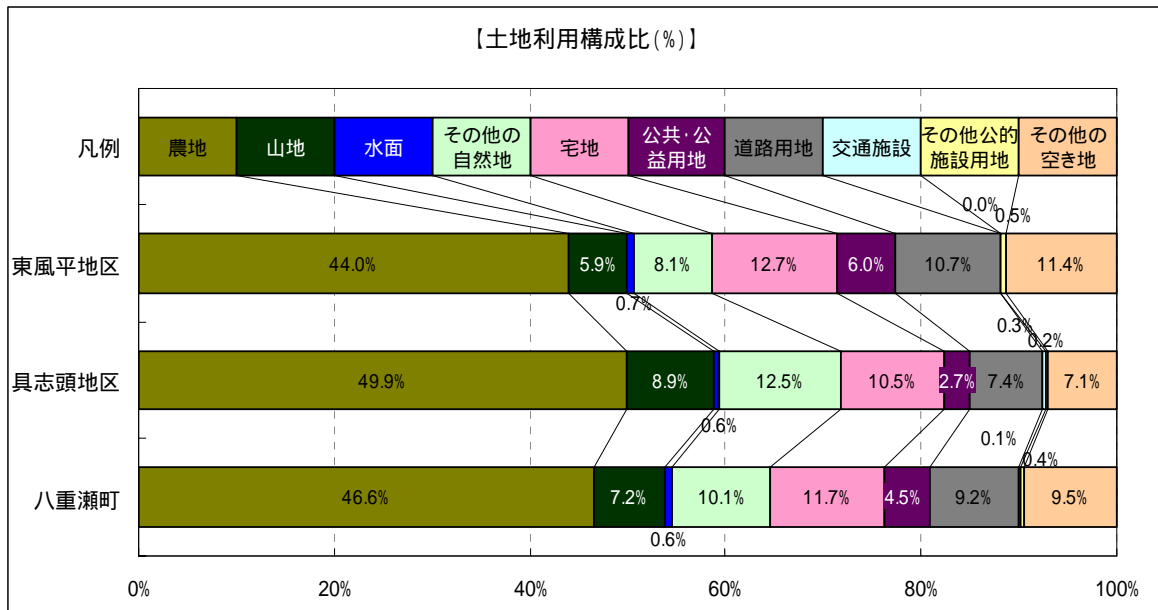
### 3 土地利用

本町の平成 21 年における土地利用状況は、畑が 1,254.9ha (46.6%) と最も多く、次いで住宅用地 277.8ha (10.3%)、その他の自然地 270.3ha (10.1%) となっている。

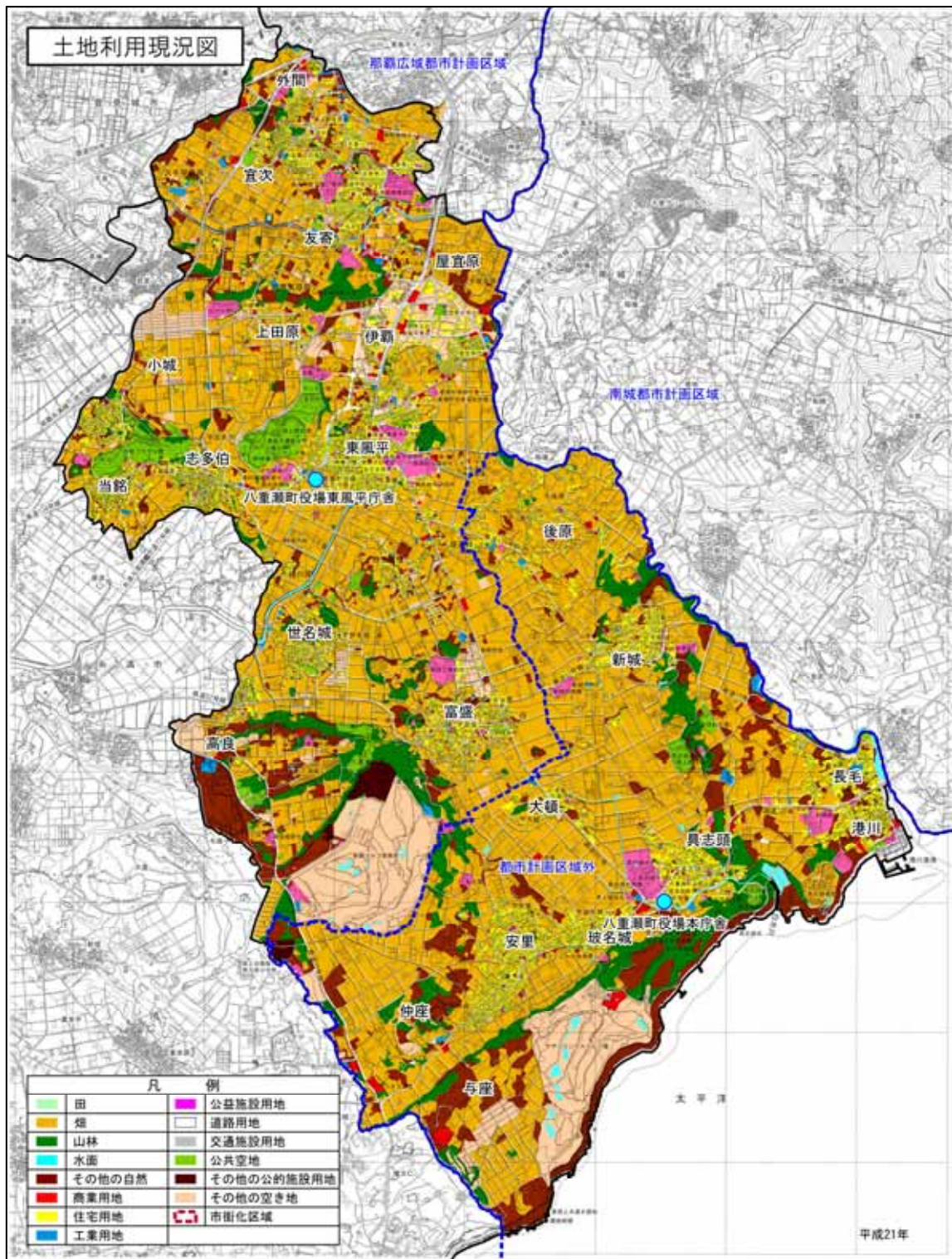
自然的土地利用と都市的土地利用についてみると、自然的土地利用が 1,737.3ha (64.6%) と 6 割半を占め、都市的土地利用が 952.7ha (35.4%) と 3 割半を占めている。

		自然的土地利用							都市的土地利用										合 計	可 住 地	非 可 住 地
		農 地		小 計	山 林	水 面	その 他 の 自 然 地	小 計	宅 地			小 計	公 共 ・ 公 益 用 地	道 路 用 地	交 通 施 設 用 地	公 的 施 設 用 地	そ の 他 の 空 地	小 計			
		田	畑						住 宅 用 地	商 業 用 地	工 業 用 地										
東風平地区	面積	0.0	650.9	650.9	87.5	10.2	119.1	867.8	165.4	13.8	8.7	187.9	88.9	158.1	0.0	7.8	168.6	611.2	1,479.0	1,094.9	384.1
	割合	0.0%	44.0%	44.0%	5.9%	0.7%	8.1%	58.7%	11.2%	0.9%	0.6%	12.7%	6.0%	10.7%	0.0%	0.5%	11.4%	41.3%	100.0%	74.0%	26.0%
具志頭地区	面積	0.0	603.9	603.9	107.4	7.0	151.2	869.5	112.4	9.6	5.6	127.7	32.8	89.6	3.1	2.5	85.9	341.5	1,211.0	924.8	286.2
	割合	0.0%	49.9%	49.9%	8.9%	0.6%	12.5%	71.8%	9.3%	0.8%	0.5%	10.5%	2.7%	7.4%	0.3%	0.2%	7.1%	28.2%	100.0%	76.4%	23.6%
八重瀬町	面積	0.0	1,254.9	1,254.9	194.9	17.2	270.3	1,737.3	277.8	23.4	14.3	315.5	121.6	247.7	3.1	10.3	254.5	952.7	2,690.0	2,019.7	670.3
	割合	0.0%	46.6%	46.6%	7.2%	0.6%	10.1%	64.6%	10.3%	0.9%	0.5%	11.7%	4.5%	9.2%	0.1%	0.4%	9.5%	35.4%	100.0%	75.1%	24.9%

平成21年







単位:ha

字別土地利用現況

	自然的土地利用										都市的土地利用										合計	可住地	非可住地
	農地					山林	水面	その他の自然地	宅地					公共・公益用地	道路用地	交通施設用地	その他の公的施設用地	その他の空地					
	田	畑	小計		小計				住宅用地	商業用地	工業用地	小計	小計										
			田	畑															住宅用地	商業用地			
東風平	0.0	115.0	115.0	5.6	2.2	4.2	127.0	36.5	2.2	0.8	39.5	27.4	239	0.0	0.0	7.1	98.0	225.0	167.2	57.8			
伊藤	0.0	5.8	5.8	1.6	0.2	3.0	106	10.1	2.3	0.2	12.6	0.6	89	0.0	0.0	13.3	35.4	46.0	33.3	12.7			
上田原	0.0	16.9	16.9	4.4	0.0	2.1	23.4	3.4	0.5	0.0	3.9	0.7	46	0.0	0.0	4.2	13.5	37.0	29.5	7.5			
屋直原	0.0	32.6	32.6	0.7	0.2	7.8	41.3	10.3	1.1	0.3	11.7	1.2	10.2	0.0	0.0	8.3	31.5	72.8	53.4	19.5			
富盛	0.0	110.2	110.2	23.4	2.0	16.5	152.2	19.4	0.9	0.8	21.1	7.7	22.3	0.0	7.7	87.2	146.2	298.4	242.0	56.4			
世名城	0.0	108.9	108.9	22.3	2.0	24.7	157.9	15.9	1.2	0.6	17.7	7.8	20.7	0.0	0.1	9.6	55.9	213.8	158.4	55.3			
高良	0.0	13.6	13.6	5.7	0.0	23.6	43.0	4.0	0.4	1.3	5.7	2.5	6.6	0.0	0.0	7.1	22.0	64.9	32.2	32.8			
志多伯	0.0	55.9	55.9	3.9	0.5	3.2	63.4	11.7	0.3	0.5	12.5	8.6	9.1	0.0	0.0	2.2	32.4	95.8	74.5	21.4			
当統	0.0	16.0	16.0	0.8	0.0	1.9	18.7	7.1	0.0	0.3	7.4	9.1	3.5	0.0	0.0	1.2	21.2	39.9	25.4	14.5			
小城	0.0	43.2	43.2	3.1	0.2	4.0	50.5	8.6	0.4	0.0	8.9	7.1	10.7	0.0	0.0	12.9	39.6	90.1	68.1	22.0			
宜次	0.0	57.9	57.9	2.7	0.6	10.9	72.2	12.9	1.2	1.5	15.6	1.9	13.5	0.0	0.0	4.2	35.3	107.4	80.4	27.0			
外間	0.0	8.6	8.6	2.4	0.2	2.9	14.2	4.2	1.1	0.7	6.0	2.5	5.9	0.0	0.0	2.3	16.7	30.8	19.3	11.5			
友寄	0.0	66.3	66.3	10.8	2.1	14.3	93.4	21.2	2.3	1.6	25.2	11.5	18.0	0.0	0.0	8.9	63.6	157.0	111.1	45.9			
東風平地区計	0.0	650.9	650.9	87.5	10.2	119.1	867.8	165.4	13.8	8.7	187.9	88.9	158.1	0.0	7.8	168.6	611.2	1,479.0	1,094.9	384.1			
安里	0.0	84.9	84.9	13.1		32.7	130.6	13.4	0.3	0.1	13.8	2.0	10.6	0.0	2.5	48.3	77.1	207.8	160.1	47.7			
具志頭	0.0	114.6	114.6	29.5	3.7	31.3	179.2	20.3	1.0	1.7	23.1	18.4	18.4	0.0	0.0	1.7	61.6	240.8	168.9	71.9			
後原	0.0	94.7	94.7	7.8	0.0	3.3	105.8	17.0	0.9	0.6	18.6	0.6	9.8	0.0	0.0	0.3	29.3	135.1	121.4	13.7			
港川	0.0	1.4	1.4	0.1	0.0	3.5	5.0	10.2	1.1	0.1	11.4	4.5	3.9	3.1	0.0	0.3	23.3	28.3	13.3	15.0			
新城	0.0	99.7	99.7	16.7	0.4	17.3	134.1	14.8	0.4	1.2	16.5	5.0	14.1	0.0	0.0	0.8	36.4	170.5	133.7	36.8			
大野	0.0	41.2	41.2	0.7	0.2	1.4	43.4	5.6	0.3	0.6	6.4	0.1	5.4	0.0	0.0	0.3	12.2	55.6	48.6	7.0			
仲座	0.0	82.3	82.3	12.5	0.0	20.1	114.8	7.2	1.6	0.4	9.3	0.8	12.1	0.0	0.0	5.8	28.0	142.8	109.8	33.0			
長毛	0.0	11.4	11.4	0.6	2.0	5.3	19.4	11.2	0.1	0.9	12.2	0.6	3.8	0.0	0.0	0.5	17.1	36.6	24.8	11.8			
与座	0.0	19.5	19.5	7.2	0.0	16.8	43.5	3.0	1.5	0.0	4.5	0.2	2.8	0.0	0.0	8.3	15.9	59.4	38.1	21.3			
波名城	0.0	54.1	54.1	19.2	0.7	19.6	93.6	9.5	2.4	0.0	11.9	0.5	8.6	0.0	0.0	19.5	40.5	134.1	103.0	31.2			
具志頭地区計	0.0	603.9	603.9	107.4	7.0	151.2	869.5	112.4	9.6	5.6	127.7	32.8	89.6	3.1	2.5	85.9	341.5	1,211.0	921.6	286.2			
八重瀬町計	0.0	1,254.9	1,254.9	194.9	17.2	270.3	1,737.3	277.8	23.4	14.3	315.5	121.6	247.7	3.1	10.3	254.5	952.7	2,690.0	2,016.5	673.5			

非可住地とは、「水面、その他の自然地、商業用地が1ha以上の大規模施設、公共・公益用地、道路用地、交通施設用地、その他の公的施設用地、工業専用地域(用途地域)」をいう。

可住地とは、「非可住地」以外の土地のことをいう。

平成21年

## 4 人口・世帯

### (1) 人口・世帯数

国勢調査における本町の人口は、平成17年現在25,121人である（平成23年3月1日現在の住民基本台帳による人口は27,656人）。過去からの推移をみると、昭和60年から平成17年の20年間に5,203人増加している。

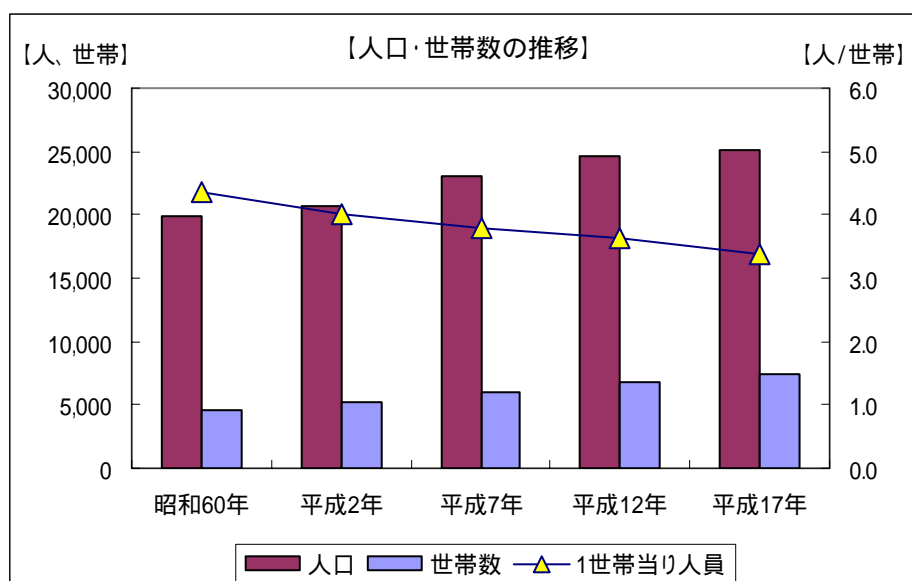
世帯数は、平成17年現在7,424世帯である（平成23年3月1日現在の住民基本台帳による世帯数は9,714世帯）。過去からの推移をみると、昭和60年から平成17年の20年間に2,848世帯増加している。

1世帯当り人員は、昭和60年の4.4人から年々減少し、平成17年には3.4人となっており、20年間で1.0人の減少となっている。これは東風平地域、具志頭地域ともに同様の傾向である。

国勢調査における人口・世帯数の推移

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人口	旧東風平町	13,148	14,150	15,938	16,879	17,086
	旧具志頭村	6,770	6,568	7,095	7,747	8,035
	計	19,918	20,718	23,033	24,626	25,121
世帯数	旧東風平町	3,045	3,546	4,177	4,673	5,022
	旧具志頭村	1,531	1,621	1,893	2,125	2,402
	計	4,576	5,167	6,070	6,798	7,424
1世帯当り人員	旧東風平町	4.3	4.0	3.8	3.6	3.4
	旧具志頭村	4.4	4.1	3.7	3.6	3.3
	計	4.4	4.0	3.8	3.6	3.4
人口増加率	旧東風平町	-	7.6%	12.6%	5.9%	1.2%
	旧具志頭村	-	-3.0%	8.0%	9.2%	3.7%
	計	-	4.0%	11.2%	6.9%	2.0%
世帯増加率	旧東風平町	-	16.5%	17.8%	11.9%	7.5%
	旧具志頭村	-	5.9%	16.8%	12.3%	13.0%
	計	-	12.9%	17.5%	12.0%	9.2%

資料：国勢調査



## (2) 年齢別人口

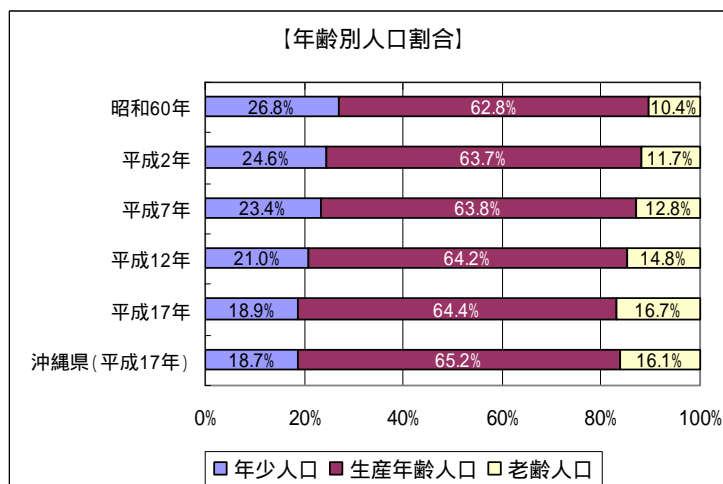
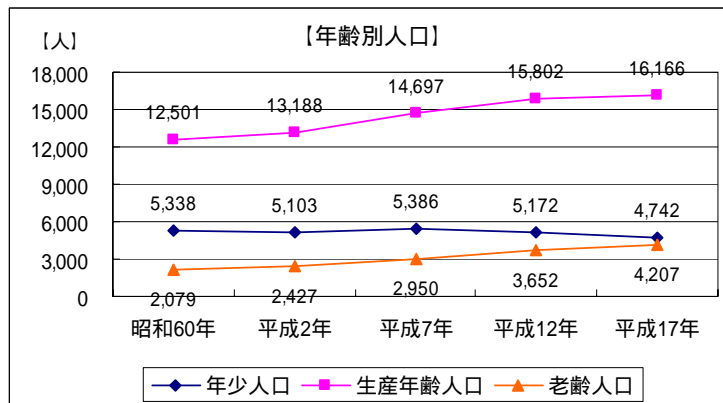
平成17年の本町における年齢別人口は、年少人口(0～14歳)4,742人(18.9%)、生産年齢人口(15～64歳)16,166人(64.4%)、高齢人口(65歳以上)4,207人(16.7%)となっている。

昭和60年からの推移をみると、年少人口は平成7年に増加しているが、昭和60年から平成17年までの20年間で596人減少している。生産年齢人口は年々増加傾向にあり、昭和60年から平成17年までの20年間で3,665人増加している。高齢人口は年々増加傾向にあり、昭和60年から平成17年までの20年間で2,128人増加している。

平成17年の構成比を沖縄県と比較すると、年少人口と高齢人口はともに県より高く、生産年齢人口は県より低く、県平均よりも若干、少子高齢化が進行している。

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	沖縄県(平成17年)
総人口		19,918	20,718	23,033	24,626	25,121	1,361,146
年少人口 (0～14歳)	人口	5,338	5,103	5,386	5,172	4,742	254,203
	構成比	26.8%	24.6%	23.4%	21.0%	18.9%	18.7%
	増減率	-	-4.4%	5.5%	-4.0%	-8.3%	-
生産年齢人口 (15～64歳)	人口	12,501	13,188	14,697	15,802	16,166	888,046
	構成比	62.8%	63.7%	63.8%	64.2%	64.4%	65.2%
	増減率	-	5.5%	11.4%	7.5%	2.3%	-
高齢人口 (65歳以上)	人口	2,079	2,427	2,950	3,652	4,207	218,897
	構成比	10.4%	11.7%	12.8%	14.8%	16.7%	16.1%
	増減率	-	16.7%	21.5%	23.8%	15.2%	-

資料：国勢調査





### (3) 産業別人口

平成17年における本町の産業別人口は、第3次産業(7,840人、68.5%)が最も多く、次いで第2次産業(2,114人、18.5%)、第1次産業(1,483人、13.0%)の順となっている。

第1次産業は、昭和60年から平成17年にかけては減少傾向だが、平成12年から平成17年は増加している。

第2次産業は、昭和60年から年々増加傾向となっているが、鉱業は、年々減少傾向である。

第3次産業は、昭和60年から年々増加傾向となっており、昭和60年と平成17年を比較すると、20年間で3,166人増である。

産業別就業者数の推移

(単位:人、%)

八重瀬町	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農業	1,874	23.3	1,880	20.7	1,699	17.0	1,402	13.1	1,445	12.6
林業	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
水産業	48	0.6	49	0.5	56	0.6	55	0.5	38	0.3
第1次産業	1,922	23.9	1,931	21.3	1,755	17.6	1,457	13.6	1,483	13.0
鉱業	30	0.4	18	0.2	15	0.2	16	0.1	11	0.1
建設業	941	11.7	1,090	12.0	1,330	13.3	1,406	13.2	1,394	12.2
製造業	532	6.6	617	6.8	633	6.3	688	6.4	709	6.2
第2次産業	1,503	18.7	1,725	19.0	1,978	19.8	2,110	19.8	2,114	18.5
電気・ガス・熱供給・水道業	44	0.5	47	0.5	66	0.7	62	0.6	66	0.6
運輸・通信業	669	8.3	714	7.9	753	7.5	791	7.4	-	-
情報通信	-	-	-	-	-	-	-	-	187	1.6
運輸業	-	-	-	-	-	-	-	-	664	5.8
卸売・小売業・飲食店	1,466	18.2	1,638	18.1	1,839	18.4	2,100	19.7	-	-
卸売・小売業	-	-	-	-	-	-	-	-	1,883	16.5
金融・保険	155	1.9	171	1.9	196	2.0	201	1.9	215	1.9
不動産業	30	0.4	55	0.6	69	0.7	63	0.6	63	0.6
サービス業	1,761	21.9	2,244	24.8	2,734	27.4	3,217	30.1	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	-	-	-	-	-	-	-	-	1,452	12.7
飲食店・宿泊業	-	-	-	-	-	-	-	-	522	4.6
医療・福祉	-	-	-	-	-	-	-	-	1,403	12.3
教育・学習支援業	-	-	-	-	-	-	-	-	477	4.2
複合サービス事業	-	-	-	-	-	-	-	-	163	1.4
公務	549	6.8	586	6.5	671	6.7	738	6.9	745	6.5
第3次産業	4,630	57.5	5,408	59.7	6,262	62.7	7,110	66.6	7,840	68.5
総数	8,055	100.0	9,064	100.0	9,995	100.0	10,677	100.0	11,437	100.0
分類不能の産業	75	-	8	-	7	-	12	-	40	-

総数に分類不能の産業は含まない。

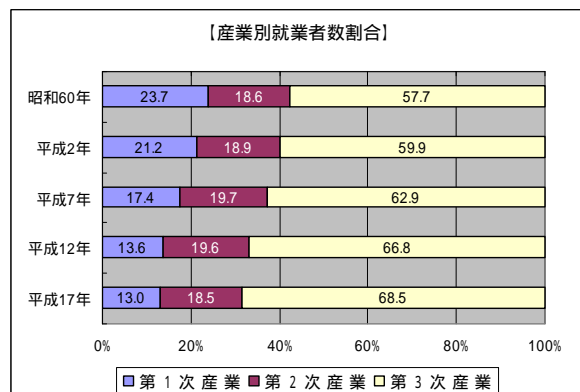
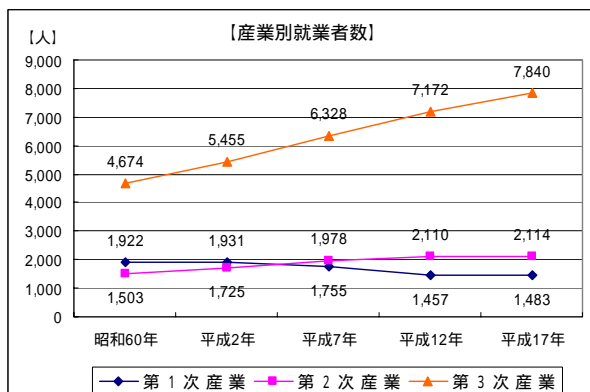
資料: 国勢調査

平成17年から「運輸・通信業」が「通信情報」「運輸業」に分類されている。

平成17年から「卸売・小売業・飲食店」が「卸売・小売業」に変更されている。

平成17年から「サービス業」が「サービス業(他に分類されないもの)」「飲食店・宿泊業」「医療・福祉」

「教育・学習支援」「複合サービス事業」に分類されている。



## 5 産業

### (1) 農業

本町における農業活動の推移をみると、農家戸数・経営耕地面積ともに年々減少傾向にあり、農家戸数は昭和60年の1,968戸から平成17年には813戸に減少し、経営耕地面積は昭和60年の1,249haから平成17年には542haに減少している。

農業粗生産額も減少傾向となっており、昭和60年の7,380百万円から平成17年には5,930百万円に減少している。

農業活動の推移 (単位:戸、ha、ha/戸、%、百万円)

八重瀬町	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
専業農家	411	294	297	304	324
兼業農家	1,557	1,131	871	637	489
第一種兼業農家	386	404	286	289	240
第二種兼業農家	1,171	727	585	348	249
合計	1,968	1,425	1,168	941	813
経営耕地面積	1,249	1,101	846	740	542
一戸当り経営耕地面積	0.6	0.8	0.7	0.8	0.7
農業粗生産額	7,380	6,355	6,761	5,650	5,930

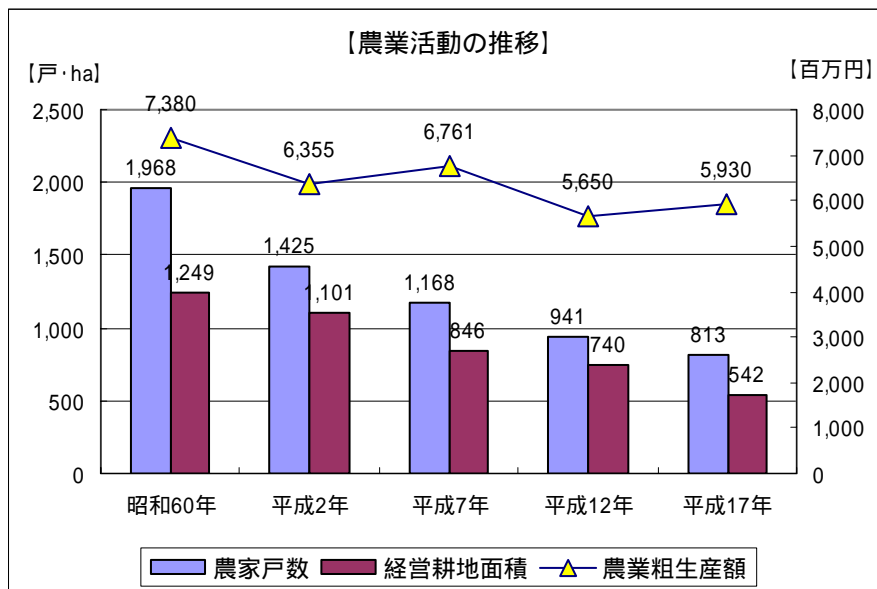
販売農家数のみ記載。

資料:農業関係統計

専業農家は、全収入を農業収入のみの農家

第一種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以上の農家

第二種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以下の農家



(2) 漁業

本町における漁業経営体数の推移をみると、昭和53年(53経営体)から平成5年(42経営体)まで減少し、平成10年以降は横ばいとなっているが、平成20年(36経営体)には減少している。

海上作業従業者数をみると、漁業経営体同様に昭和53年(71人)から平成5年(57人)まで減少傾向であり、平成10年(100人)には増加するが、平成15年以降は再び減少に転じている。

漁業経営体の基本構成及び自営漁業の専業別経営体数

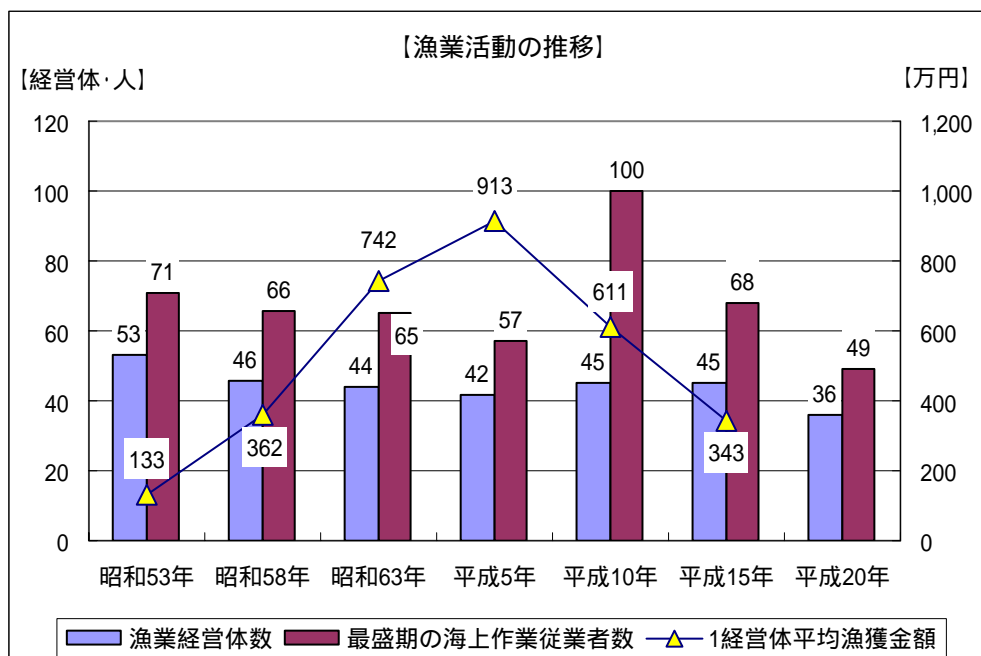
各年11月1日現在

			昭和53年	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	
総括	漁業経営体数	経営体	53	46	44	42	45	45	36	
		無動力船隻数	隻	5	1	0	0	0	0	-
	船外機付隻数	隻	2	2	0	1	1	6	2	
		動力船	隻数	隻	52	45	51	46	47	48
		トン数	t	82.5	79.95	90.35	94.06	127.9	125.47	
		馬力数	馬力	633	888	1663	1920	2606	2390	
	最盛期の海上作業従業者数	総数	人	71	66	65	57	100	68	49
		家族	人	64	49	49	48	48	59	32
		雇用者	人	7	17	16	9	52	9	17
	1経営体平均漁獲金額	万円	133	362	742	913	611	343		
個人経営	総数	経営体	53	46	43	41	41	43	34	
	専業(自営漁業のみ)	経営体	10	9	13	23	17	13	31	
	兼業	経営体	28	28	26	14	20	18	1	
	兼業	経営体	15	9	4	4	4	12	2	

最盛期の海上作業従業者数とは、海面漁業を通じて最も多くの人が漁業の海上作業に従事した時期の人数をいう。

資料：漁業センサス

平成20年の「馬力数」「1経営体平均漁獲金額」については、統計資料において記載なし





### (3) 商業

本町の商業活動の推移をみると、商店数は昭和60年から年々減少傾向を示している。昭和60年から平成19年の推移をみると、平成19年には196店となり、昭和60年の275店から79店減少している。

従業者数は、増減を繰り返している。昭和60年から平成19年の推移をみると、平成19年には700人となり、昭和60年の669人から31人増加している。

販売額は、平成14年をピークに昭和60年から増加傾向となっているが、平成3年と平成19年には減少している。昭和60年から平成19年の推移をみると、平成19年には10,539百万円となり、昭和60年の8,487百万円から2,052百万円増加している。

商業活動の推移 (単位:店、人、百万円、%)

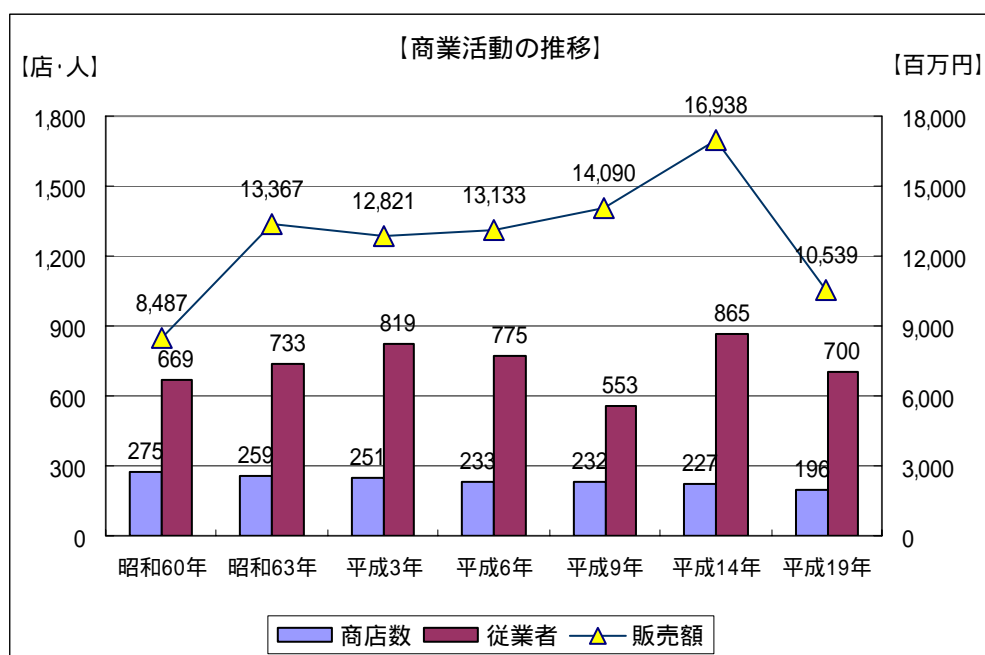
八重瀬町		昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成14年	平成19年
商店数	卸売業	13	16	14	11	15	20	17
	小売業	262	243	237	222	217	207	179
	計	275	259	251	233	232	227	196
従業者	卸売業	72	108	101	67	79	143	127
	小売業	597	625	718	708	474	722	573
	計	669	733	819	775	746	865	700
販売額	卸売業	3,062	7,693	5,444	6,621	6,833	10,829	3,812
	小売業	5,425	5,674	7,377	6,512	7,257	6,108	6,727
	計	8,487	13,367	12,821	13,133	14,090	16,938	10,539

飲食店を除いた数値。

資料: 沖縄県の商業、商業統計調査

調査期日: S57年6月1日、S60年5月1日、S63年6月1日、H3年7月1日、H6年7月1日、H9年6月1日、H14年6月1日、H19年6月1日。本調査はH9年以降から5年毎に実施。ただし、年間商品販売額は、調査期日前1ヶ年間である。

平成9年の従業者数は、旧具志頭村の従業者数の記載がないため東風平のみの数値となっている



(4) 工業

本町における工業活動の推移をみると、事業所数は平成7年から平成17年まで33~42事業所数のほぼ横ばいで推移していたが、平成19年には26事業所まで減少している。平成19年には26事業所となっており、平成7年の33事業所から7事業所減少している。

従業者数は、平成7年から平成15年まで増加し、平成17年からは増減を繰り返している。平成19年には315人となっており、平成7年の216人から99人増加している。

出荷額は、平成10年から平成15年にかけて増加傾向にあったが、平成17年からは減少傾向となっている。平成19年には、216,318万円となっており、平成7年の184,379万円から31,939万円増加している。

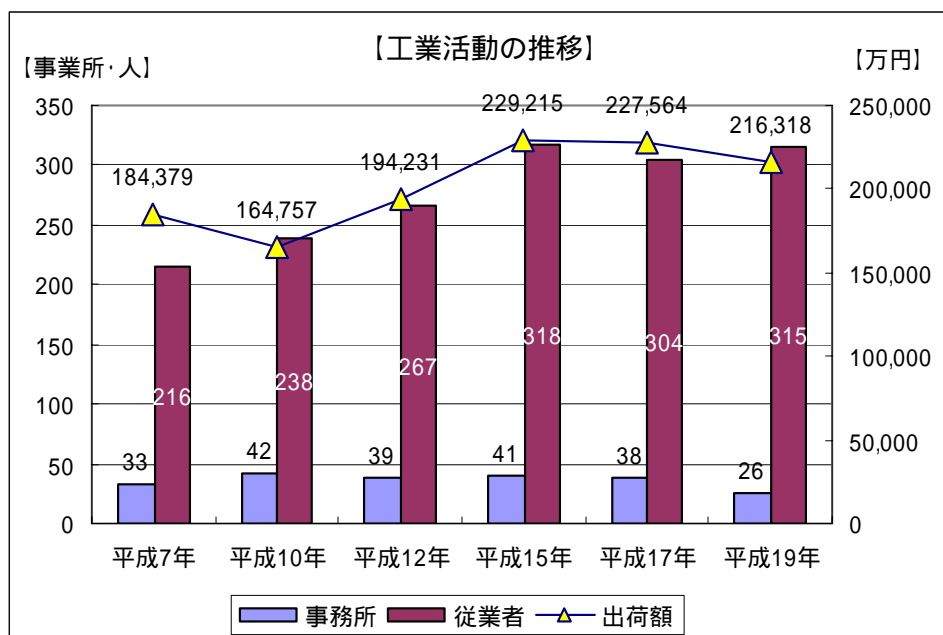
八重瀬町	平成7年			平成10年			平成12年			平成15年			平成17年			平成19年		
	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額	事業所	従業者	出荷額
食料品製造業	7	X	X	5	X	X	7	89	54,841	10	143	100,347	10	130	117,247	6	139	101,259
パイナップル缶詰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂糖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲料・たばこ・飼料	2	X	X	3	X	X	3	X	X	3	X	X	3	18	X	2	10	X
繊維(工業)	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	X	X	-	-	-	1	9	X
衣服・その他の繊維製品	1	X	X	1	X	X	1	X	X	2	X	X	2	10	X	1	5	X
木材・木製品(家具を除く)	1	X	X	1	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家具・装備品	3	23	20,913	3	X	X	3	22	16,889	2	X	X	2	19	X	2	19	X
パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷・関連産業(出版)	1	X	X	1	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	X
化学工業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	X	1	6	X
石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プラスチック製品	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	X	X	1	13	X	1	14	X
ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	1	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石製品	3	X	X	3	11	2,726	3	X	X	4	X	X	4	32	X	4	40	38,664
鉄鋼業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	X	X	1	4	X	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金属製品	12	47	36,707	17	81	55,205	16	84	57,537	13	76	61,166	9	54	44,232	5	43	35,581
一般機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	X	-	-	-
電気機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情報通信機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電子部品・デバイス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸送用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精密機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の製造業	1	X	X	5	11	6,911	4	X	X	4	12	4,975	4	12	5,701	2	23	X
合計	33	216	184,379	42	238	164,757	39	267	194,231	41	318	229,215	38	304	227,564	26	315	216,318

秘匿の必要がある場合は「x」で表示。

平成14年3月の日本標準産業分類の改訂により、「出版業」は「情報通信業」に移行され、工業統計調査の対象外となった。

また、「電気機械器具」は「電気機械器具」、「情報通信機械器具」、「電子部品・デバイス」の3つに分割され、「武器製造業」は「その他の製造業」に統合された。

資料：沖縄県の工業



## 6 歴史・文化資源

### (1) 文化財

本町では、「屋宜家」が国の登録有形文化財として登録されている。県指定文化財としては「富盛の石彫大獅子」及び「当銘・小城の共有龕及び付属葬具一式」があり、町指定文化財は「世名城のガジュマル」等の11つの文化財がある。

指定文化財以外にも、本町には数多くの有形・無形文化財、史跡・名勝・天然記念物が存在している。

#### 主な文化財

種別	名称	所在地
<b>国登録文化財</b>		
1	登録有形文化財 屋宜家(主屋、アサギ、井戸、ヒンプン、石垣)	字大頓
<b>県指定文化財</b>		
2	有形民俗文化財 富盛の石彫大獅子	字富盛
3	有形民俗文化財 当銘・小城の共有龕(がん)及び付属葬具一式	字小城
<b>町指定文化財</b>		
4	天然記念物(植物) 世名城のガジュマル	字世名城
5	天然記念物(植物) 当銘のガジュマル	字当銘
6	無形民俗文化財 富盛の唐人行列	字富盛
7	無形民俗文化財 富盛の大和人行列	字富盛
8	無形民俗文化財 富盛の女行列	字富盛
9	無形民俗文化財 世名城の臼太鼓	字世名城
10	無形民俗文化財 安里の臼太鼓	字安里
11	無形民俗文化財 玻名城の獅子舞	字玻名城
12	無形民俗文化財 新城のシーヤーマー	字新城
13	史跡 慶座井	字安里
14	史跡 ゆったちじょうの御嶽	字具志頭
<b>有形文化財</b>		
15	有形文化財 世名城のパール石	字世名城
16	有形文化財 義村王子の寄進香炉	字東風平
17	建造物 上江門家	字安里
18	書籍 義村朝義の書軸	字具志頭(具志頭歴史民俗資料館)
19	工芸 鉦鼓(しょうぐ)	字具志頭(具志頭歴史民俗資料館)
20	歴史資料 新垣次郎の遺言状	字具志頭
<b>有形民俗文化財</b>		
21	有形民俗文化財 伊覇の石獅子	字伊覇
22	有形民俗文化財 志多伯の石獅子	字志多伯
23	有形民俗文化財 小城の石獅子	字小城
24	有形民俗文化財 宜次の石獅子	字宜次
25	有形民俗文化財 新城の石獅子	字新城
<b>無形民俗文化財</b>		
26	無形民俗文化財 東風平の獅子舞	字東風平
27	無形民俗文化財 志多伯の獅子舞	字志多伯
28	無形民俗文化財 友寄の獅子舞	字友寄
29	無形民俗文化財 宜次の二十日正月	字宜次
30	有形民俗文化財 東風平の石獅子	字東風平



史跡・名勝・天然記念物			
31	史跡	港川フィッシャー遺跡	字長毛
32	史跡	八重瀬グスク	字富盛
33	史跡	多々名グスク	字玻名城
34	史跡	上グスク	字仲座
35	史跡	具志頭グスク	字具志頭
36	史跡	新城グスク	字新城
37	史跡	玻名城古島遺跡	字具志頭
38	史跡	新里洞穴遺跡	字新城
39	史跡	ガラビ壕遺跡	字具志頭
40	史跡	ガンデ原遺跡	字新城
41	史跡	富盛の石灯籠	字富盛
42	史跡	高良上の井泉	字高良
43	史跡	川平良井小	字具志頭
44	史跡	屋富祖井	字具志頭
45	史跡	んぢゃ井	字玻名城
46	史跡	世持井	字仲座
47	史跡	真嘉戸井	字新城
48	史跡	伊舎堂墓(南風原按司と花城親方墓)	字具志頭
49	史跡	暗御門	字具志頭
50	史跡	玻名城のお宮	字玻名城
51	史跡	座嘉比之殿	字安里
52	史跡	具志頭巫火神	字安里
53	史跡	与座之殿	字与座
54	史跡	安里之殿	字玻名城
55	史跡	真嘉之殿	字玻名城
56	史跡	具志頭グスクの霊石	字具志頭
57	史跡	南の御嶽	字港川
58	史跡	孝神堂	字安里
59	史跡	唐の船御嶽	字長毛
60	史跡	つづみ岩	字玻名城
61	史跡	志多伯神谷の門構え	字志多伯
62	史跡	第一野戦病院壕	字富盛
63	名勝	自然橋	字具志頭
64	天然記念物(植物)	字具志頭のフクギ並木	字具志頭



【当銘・小城の共有籠】



【志多伯神谷の門構え】



【港川フィッシャー】

(2) 伝統芸能

本町は伝統芸能が盛んなまちである。旧盆や旧暦 8 月 15 日には各地域で多彩な民俗芸能が催される。いずれも豊年満作や無病息災を祈願するものが多く、今日まで受け継がれている。

本町では、各地に伝わる伝統芸能をかけがえのない財産として、その保存・継承・発展に力を注いでいる。

地域の伝統芸能

エイサー	富盛エイサー	毎年旧暦 7 月 13 日・14 日
	具志頭エイサー	毎年旧暦 7 月 14 日・15 日・16 日
	新城エイサー	毎年旧盆の週の金曜日・土曜日
	安里エイサー	毎年旧暦 7 月 13 日・14 日
	長毛エイサー	毎年旧暦 7 月 13 日・14 日
	港川エイサー	毎年旧暦 7 月 15 日・16 日
	東風平エイサー	毎年旧暦 7 月 13 日・14 日
獅子舞	友寄の獅子舞	毎年旧暦 8 月 15 日
	東風平の獅子舞	毎年旧暦 8 月 15 日・16 日
	志多伯の獅子舞	1、2、3 年、13 年、25 年、35 年忌毎の旧暦 8 月 15 日
	坂名城の獅子舞	毎年旧暦 7 月 16 日・8 月 15 日
綱引き	東風平の綱引き	毎年旧暦 7 月 16 日
	富盛の綱引き	(七月綱) 旧暦 7 月 13 日(ウンケー)・15 日(ウーケイ) (十五夜綱) 旧暦 8 月 15 日
	世名城の綱引き	毎年旧暦 7 月 16 日
	高良の綱引き	(七夕綱) 旧暦 7 月 7 日 (ウンケー綱) 旧暦 7 月 13 日
	志多伯の綱引き	(ウマチー綱) 旧暦 6 月 15 日 (七月綱) 旧暦 7 月 15 日
	当銘の綱引き	旧暦 6 月 16 日・旧暦 7 月 15 日
	小城の綱引き	旧暦 6 月 15 日・旧暦 7 月 14 日
	宜次の綱引き	旧暦 7 月 16 日
	友寄の綱引き	旧暦 7 月 15 日
	安里の綱引き	毎年旧暦 8 月 15 日に最も近い日曜日
	具志頭の綱引き	3 年毎の旧暦 8 月 15 日
	棒術	東風平の棒術
富盛の棒術		毎年旧暦 8 月 15 日
世名城の棒術		旧暦 8 月 15 日
志多伯の棒術		獅子加那志の年忌毎の毎年旧暦 8 月 15 日・16 日
当銘の棒術		龕甲祭の年忌毎の旧暦 8 月 10 日
小城の棒術		龕甲祭の年忌毎の旧暦 8 月 10 日
宜次の棒術		綱引き、納涼祭時
友寄の棒術		旧暦 8 月 15 日
安里の棒術		安里の綱引きと同日
坂名城の棒術		坂名城の獅子舞と同日
祭祀舞踊	世名城のウスデーク	毎年旧暦 8 月 15 日
	安里のウフデーク	毎年旧暦 7 月 17 日
	新城のシーヤーマー	不定期
富盛の唐人・大和人・女行列		毎年旧暦 8 月 15 日
当銘・小城の龕のまつり		1、2、3、7 年、13 年、25 年、33 年忌毎の旧暦 8 月 10 日
港川ハーレー(爬竜船競漕)		毎年旧暦 5 月 4 日